

2016年度 自己評価結果

1. 梅花幼稚園の教育目標

- ・神を愛し、人を愛することもに
- ・自立した個性豊かなこどもに
- ・あそびを創り出せるこどもに

2. 2016年度、重点的に取り組む目標・計画

平和を共に

- ・子ども自身が好きな遊びを充分に楽しみ、更に考え工夫し、遊び込めるような環境をつくる。
- ・同年齢のみならず、異年齢との関わりの中から、お互いを思いやり支え合う心を育む。
- ・様々な体験を通して、一人ひとりが自信を持って自分を表現し、豊かに過ごせるよう励ます。
- ・統合保育の中で、自分とは違う存在と出会い、互いに受け入れ合い育ち合っていくことを願い、関わる。

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	結果	取組状況
○ 教育課程・指導	C	教育課程を理解し取り組んでいるが、年齢に即した声のかけ方（関わり）に努力が足りなかった。
○ 保健管理	B	積極的に取り組んでいる。
○ 安全管理	B	日々行っているが、更に努めていきたい。
○ 特別支援教育	B	家庭との連絡を、会話・連絡ノート等、様々な方法で密に行っている。
○ 組織運営	C	日々、子どもの様子について話し合い、連携をとり保育を行っていくよう努力をしているが、なかなか難しかった。
○ 研修（資質向上の取組）	B	出来る限り、研修会等に参加し学んでいる。 園内研修を行い、皆で共有し取り組んでいる。
○ 教育目標・学校評価	C	常に教育理念に立ち返り、話し合いを深めることに欠けていた。
○ 情報提供	C	園の保育を知っていただくため、情報発信に工夫が足りなかった。
○ 保護者・地域住民との連携	C	園に対しての希望など、積極的に保護者の方からお聞きできるように、連携を大切にすることに、更に努める必要がある。
○ 子育て支援	B	入園に結び付くよう、回数を増やした持ち方について、検討する必要がある。
○ 預かり保育	B	保育後のゆったりとした時間を大切にしているが、担当者確保が難しい。
○ 教育環境整備	C	子どもたちのあそびが豊かに安全に過ごせるよう、常に環境整備に努めなければならない。

- * 評価結果の表示方法
- A：十分達成されている
 - B：達成されている
 - C：取り組まれているが成果が十分でない
 - D：取組が不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって、ふさわしい環境（人的、物的）となるため、日々努力を重ねているが、年間を通して不十分であった。 ・様々な個性、育ちの背景を持った子供たち一人ひとりを、より深く理解するため、保育者同士の連携を密にする努力を今後も努めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
<ul style="list-style-type: none"> ・研修（資質向上） ・情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き保育者の資質、子どもを見る目・力を更に豊かにするため、園内・外において日々研修、学びの場を確保していきたい。 ・今まで以上に、H・Pや保護者・地域の方との情報交換を通して、当園の特色、大切にしている保育について、知っていただけるよう工夫したい。